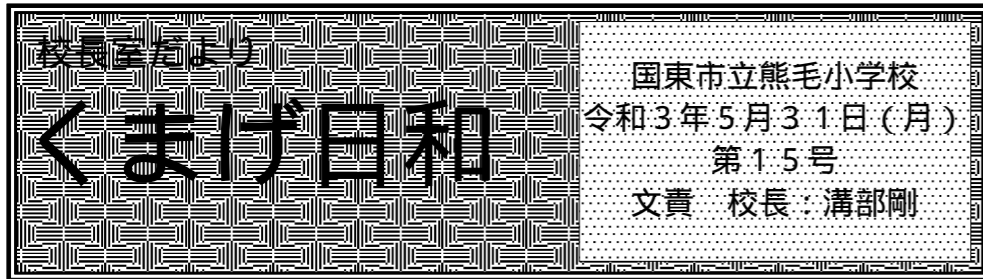


校長室だよりのタイトルを「くまげ日和」としました。「日和」は、空模様という意味がありますので、熊毛小の様子を保護者・地域の皆様にお伝えしていきたいと思っています。ご意見・ご感想等、よろしくお願ひいたします。



修学旅行延期

今年度の国見町3校連合修学旅行は、5月13日(木)～14日(金)を予定していました。1日目は、亀塚古墳公園・海部古墳資料館(大分市)・佐伯市平和祈念館やわらぎ・岡城跡(竹田市)・くじゅう花公園(竹田市)を巡り、エンジェルくんで有名な九重悠々亭に宿泊し、2日目は、九重夢大吊橋(玖珠郡)・城島高原パーク(別府市)・別府市竹細工伝統産業会館を巡り、夕方学校に戻る予定でした。

しかし、大分県内も5月6日から「ステージ3」の状況となり、感染封じ込めのための取組を求められるようになったので、延期することとなりました。

まだまだ油断できない状況ですが、わずかに改善の兆しが見えてきましたので、7月15日(木)～16日(金)を予定しています。「ステージ2」以下になることを祈るばかりです。



閉校記念事業実行委員会が始動

4月30日(金)15時45分より、熊毛小学校体育館で「第1回閉校記念事業実行委員会全体会」を開催しました。丸小野議員さん、福永教育委員さんをはじめ、学校運営協議会委員の皆さん、区長の皆さん、学びの教室の指導者の皆さん、地区公民館長さん・主事さん、そして保護者の皆さん、教職員で全体会を持ちました。ご多用の中、ご参加いただきありがとうございます。閉校は、地域のあり方に深くかかわる出来事であり、きっとお一人お一人の受け止めは様々だと思っています。根底には、「地域から学校がなくなることの寂しさ」を皆さんが感じておられるものと拝察いたします。「寂しさを乗り越える」ことは難しいことだと思いますが、最後の一年を子どもたちにとって思い出に残る一年に、そして、保護者・地域・卒業生の皆さんにとって、かけがえのない一年になるよう閉校記念事業を進めることができると考えています。どうぞご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、全体会では、「閉校記念事業実行委員会規約」と「組織づくり」の提案をし、ご承認をいただきました。その後、専門部ごとに分かれて、仕事内容とスケジュールの確認をし、次の開催日を決定してもらいました。各専門部で具体的な活動が始まりましたので、紹介させていただきます。

【記念式典部会】令和4年2月23日(水)に本校体育館で閉校記念式典を行います。閉校記念式典第1部と第2部を行う予定です。第1部の内容は、儀式的なものとし、第2部は「熊毛っ子祭り」をベースにした熊毛小学校独自の内容を計画していくことになりました。今後は、子どもや保護者のアンケートから記念事業を計画したり、式典の内容や会場づくりについて具体化したりしていく予定です。

【記念碑・募金部会】今後の具体的なスケジュールや記念事業の予算立て、記念碑をどうするか、募金活動の進め方をどうするかなどについて協議しました。また、募金グループ、記念碑その他のプラングループ、庶務グループに分かれて作業に入ることを確認しまし



た。
【記念誌部会】記念誌制作についての全般的な方向性や印刷会社について、写真掲載についてなど、かなり踏み込んだ協議を行いました。そして、卒業写真班・学校沿革班・寄稿文依頼班・最後の1年記録班に分かれて実際の作業日程等を話し合いました。

5月中は、本当に多くの方が学校に来てくださったり、電話連絡をくださったりしました。事前の打ち合わせや会議の設定、班での作業など、早め早めに進めてくださっていることに、心より感謝申し上げます。

- 熊毛小学校閉校記念事業実行委員会組織(敬称略)
- 顧問...丸小野宣康(市議会議員)・福永泰信(教育委員)
- 会長...有永洋明(学校運営協議会会長)
- 副会長...元浦五男(学校運営協議会委員)・花木哲二(学校運営協議会委員)・溝井浩二(学校運営協議会委員)・北川淳一(P T A会長)・溝部剛(校長)
- 事務局長...田中博恵(教頭)
- *閉校記念式典部会...元浦五男部長・北川淳一副部長・森廣美砂子(地区公民館主事)・北川京子(学び指導者)・青木和子(学び指導者)・田本邦彦(学び指導者)・小野友誠(保護者)・秋元晴稀(保護者)・垣野貫太郎(保護者)・橋本心絆(保護者)・坂口ほのか(保護者)・菊池くぐい(保護者)・浅田優月(保護者)・小嶋舞(教職員)・藤田諒子(教職員)・岸岡展明(教職員)
- *閉校記念(碑)・募金活動部会...花木哲二部長・井上春生副部長・吉武和久(区長)・丸小野彰文(区長)・臼井茂昭(区長)・國廣雅信(区長)・溝井浩二(区長)・岐部翔麻(保護者)・栗本湖々菜(保護者)・山口舞子(保護者)・古森万葉(保護者)・橋本優那(保護者)・小谷清春(保護者)・野口笑希(保護者)・宮永彩夏(保護者)
- *閉校記念誌部会...溝井浩二部長・近藤政廣副部長・岐部悦子(学び指導者)・永井俊道(学び指導者)・佐々野明(学び指導者)・吉岡優真(保護者)・臼井亮佳(保護者)・大海杏優菜(保護者)・谷口友斗(保護者)・引地太陽(保護者)・河村ゆさ(保護者)・秋元真央(保護者)・小谷蘭(保護者)・河村郁美(教職員)・清原貴子(教職員)・徳丸美紀(教職員)・岡崎理佳子(教職員)

学級通信のタイトルから

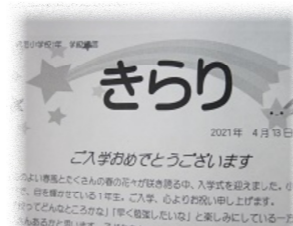
各学級担任が思いを込めて作成している通信のタイトルを紹介します。

1年「きらり」...一人ひとりが持っている「きらり」とするところを引き出していきたい。その「きらり」をみんなで認め合っていきたい。みんなのがんばり「きらり」をたくさん積み重ねて、自信につなげたい。
2・3年「にじいろ」...子どもたち6人と担任を合わせて7人。6人が一人ひとりそれぞれの色を光らせると同時に、様々な色に変化してほしい。そして、それらの色を支える7色目になりたい。

4・5年「ON/OFF」...けじめのある学級。

今は何をやる時間なのかをはっきりさせること。友だちの話を聞くことをONすれば、自分のおしゃべりはOFFにすること、初歩的なものだけれど、とても大切なこと。
6年「足跡」...一日一日、6年生として何ができたかを振り返りながら、大事に過ごしたい。

各学級担任は、学級通信を通して、子どもたちの学びの様子や担任としての思いを伝えていきます。保護者の皆様のご愛読をお願いします。



教育令は、町村を小学校の設置単位と位置付け、小学校運営を町村主体に改め、学制の中央集権的、画一的性格を改めて、教育の権限を大幅に地方にゆだねるものでした。そこで、行政事務を行うために町村に人民公選の学務委員を置くこととされました。また、小学校の最低就学期間を16か月とし、公立学校の教育課程を地域の実情に即して学務委員と教員が定めることとされました。これによつてすべての子どもが学校に通うことになりました。しかしながら、地方によつては学校の建築を中止し、あるいは学校を廃止するところもあり、就学者が一律に減少する地方も現れました。学制以来、学校の設置と就学を勧めてきてようやく成果が出始めていた初等教育が、教育令の公布によつて混乱を引き起こし、一挙に衰退するという状況も各地に現れたのです。そのため、翌年、全面的な改正が行われました(改正教育令)。

ぶらり散歩

明治時代の教育

明治5年(1872)に公布された教育制度・学制は、教育を充実することによつて国民の知識を高め、国家の近代化を進めることをめざしたものでした。その条文に、「邑(むら)に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん事を期す」とあります。全国に5万あまりの小学校をつくり、6歳以上の全ての男女が小学校教育を受けることと定めたのです。翌明治6年(1873)に学制が施行されると、各地で小学校の創立が進められました。現在、長野県松本市に校舎が残されている開智学校は、この時に開校した日本で最も古い小学校の一つです。校舎は、明治9年(1876)に建てられたもので、国の重要文化財となっています。学制では、学校の建設や授業料が住民の負担とされた事などから、なかなか就学率は上がりませんでした。男子が約6割、女子はもっとも2割を超えるほどだったのです。制度の内容があまりにも理想主義的であるという批判もあり、明治12年(1879)に学制は廃止され、教育令が公布されました。